

アリとキリギリス

こころのぽけっと

小さい頃読んだ「イソップ物語」が、私は大好きでした。その中に「アリとキリギリス」という話があります。夏の暑い日、アリさんはせっせと食料を集めて冬に備えていた。しかし、キリギリスさんは日陰で、毎日バイオリンを弾いて歌ってばかりいたそうです。アリさんはキリギリスさんに「冬になったら大変になるから、今の内から準備してた方がいいですよ」と。キリギリスさんは「冬なんて、そんなのずっと先のことでないか。今の内に遊んでおかないと」と笑って言ったそう。やがて冬が来て、一面の銀世界、キリギリスさんは空腹と寒さに耐えかねて「そうだ、アリさんの所へ行こう」と。アリさんは「あの時あれ程言ったのに、私たちがバカにしてたじゃないですか。あの時働いていれば、今苦しむことはなかったんですよ」と。この「アリとキリギリス」は、イソップ物語の中でも、最も有名な話です。つまり、「毎日毎日しっかり働いて、将来に備えていくことがとても大切ですよ」ということと「毎日毎日の積み重ねが大事です」ということの例え話であります。

今、飯舘村は、6年間の避難生活から解除（帰還困難区域を除く）になって4年目に入ります。村民の皆さんも、そして村も、「アリとキリギリス」のアリのように、一生懸命、将来の再生に向けて歩いたり、働いたりしてきたところです。

村民の方は、自分の大切な人生や家族のため、そして村は、自分の村を必ず蘇らせて、村民に戻ってきてもらう環境づくりに、キリギリス的にはならないで、この9年間、アリの生き方をしてきた訳です。必ずやその努力は報われるはずと信じて…。

10年目に当たる令和2年度も、これまで同様、「アリの飯舘村」のスタイルをもって、「新しい村づくり」をみんなで作っていきましょう。

令和2年3月4日 飯舘村長 菅野 典雄

誕生おめでとう

赤ちゃんの名前	親の氏名	行政区
天 野 莉 緒 ちゃん	浩樹・恵	大久保・外内

ひとのうごき

(令和2年2月29日現在)

人口	今 月 (前月比)
男	2715人 (-13)
女	2723人 (-14)
計	5438人 (-27)
世帯数	1830戸 (±0)

2月1日～29日までの

◆◆人口動態◆◆

転入	5人
転出	21人
出生	1人
死亡	12人

(住民基本台帳人口)

(2月21日から3月20日までに届け出のあったものを掲載)

※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

お く や み

氏 名	年 齢	行 政 区
加 藤 八ツ子	88	大久保・外内
酒 井 保 雄	83	八木沢・芦原
高 野 幸 治	86	長泥
志 賀 隆 光	72	長泥
高 橋 光 子	98	長泥

ご冥福をお祈り申し上げます

各種証明書等の郵便での請求・申請について

各種証明書の取得のために飯舘村役場へ来庁するのが困難な方について、証明書等を郵便で取得することができます。

住民課 住民係 (☎0244-42-1618/1619)

税務係 (☎0244-42-1615)

生活支援係 (☎0244-42-1609)

いいたて希望の里学園

きてみて

いいたて希望の里学園

義務教育学校「いいたて希望の里学園」が開校しました。9年間の一貫教育を通して、子どもたち一人ひとりに向き合い、その可能性を最大限に引き出していきます。家庭や地域と連携し心の教育にも力を入れていきます。

飯舘村伊丹沢字山田380

☎0244-42-0003

入学関連の情報については
村教育委員会☎0244-42-1631
までお問い合わせを



全学年の子ども達と先生方が、学年の垣根を越えて交流しながら、できたての給食を味わいます。

敷地内の認定こども園とも連携します。

多彩なアート作品が屋内外を彩ります。また、いつでも手に取れるよう、さまざまなスペースに、たくさんの本が置かれています。

屋内プール、2つの体育館、校庭に加えて、隣接のスポーツ公園も活用し運動します。

上田和昌さんの

ラオス通信。

vol.11

ラオスの農村では(2)

東京オリンピック・パラリンピック2020で村が「復興『ありがとう』ホストタウン」を務めるラオスってどんな国？上田さんのレポートで素朴な疑問に応えます。きっとラオスが身近になりますよ！

上田さんは山梨県の出身。ラオス国立大学で活動する青年海外協力隊の隊員です。



今から半世紀以上前、ラオスは「ラーンサーン王国」として存在していました。「ラーンサーン」は、ラオス語で「百万頭の象」という意味です。象はもともと山仕事や畑仕事の担い手であったと言われています。

現在もその名残として、ラオス北部に位置するサイニャブリの農村地域では、1年に1度、象祭りが開催されます。普段は、静かな農村部ですが、象祭りの季節になるとラオス国内の象がサイニャブリに集結し、大パレード、象コンテスト、象の水浴び、お祈りセレモニー、丸太ころがしなどが披露され、多くの観光客で賑わいます。ここで気になるのは、ゾウたちの移動手段ですが、象によつては何百キロの道のりを他県から歩いて移動してくるそうです。

私も去年の2月に訪れましたが、何十頭もの象が一斉にパレードをする姿は、とても迫力があり圧巻でした。象祭り期間中は、象乗り体験コーナーも設けられ一緒に写真を撮ったり、象に餌をあげたりと気軽に触れ合うこともできます。



今回はラオスのスポーツ事情を紹介します！